



# 市長選への 出馬意向は

神田 康史議員

次期市長として全力で当たりたい  
市長



▲愛西市役所本庁

**問** 市長任期2期目も残すところあと数カ月となった。自身が掲げた公約も踏まえ、現在までの市政運営のかじ取りを行ってきたことを、これまでの実績と積み残しの課題にも触れたうえで在任中(1期・2期計8年間)の総括は。

**答** 責任世代として、また行政に携わる者として「しっかりとした施策立案」の信念の下、市政運営に努めている。

1期目は、事務事業の検証を丁寧に行った。2期目は、「進めるべきは進め、とどまるべきはとどまる。」との考えの下、市政運営に努めている。少子高齢化の急速な進行の中で、市が持続可能な自治体として存続するためには市民の皆様を含めたオール愛西で市を支える必要があると考え、その取り組みを次世代に先送りせず実施してきた。

**問** 市が持続可能な自治体として今後も成長し続けていくためには、想定外のことに迅速・適切に対応しながら「攻めの施策」も展開していかなければならぬ。そこで、次期市長選への出馬意向は。

**答** 第2次愛西市総合計画において「人・自然 愛があふれるまち」を将来像とし、協働によるまちづくり、持続可能なまちづくり、絆を大切にすることを「まちづくりの理念」に沿って事業を進めている。この動きを更に前進させることが自身に課せられた使命であると考える。次期市長として強い覚悟を持って、市の運営に全力で当たりたいという決意である。

**問** 先の読めない市政運営(コロナ禍の下)に市長はどのように対処するか。

**答** 市民自ら地域を元気にする取り組みが持続可能ながわが市には必要であると考えており、市民を主役にしたまちづくりを市政運営の根底に据え、共に考え・働き、住んでよかったと実感できるまちづくりを継続し、更に次世代にバトンタッチしていけるよう全力を尽くしたい。